

目標達成計画

作成日: 令和 元年 12月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	利用者の事業所生活の中で、行事以外の日常的な散歩や、外気浴をする機会がやや少ない。	1日1回を目標に、散歩や日光浴の時間をつくることをケアプランに取り入れ、利用者のニーズに合った外出支援を継続する。	定期的なドライブ、図書館訪問、買い物同伴の実施。 1日1回は屋外に出て、外気に触れる機会をつくる。 外食、遠足に家族を招待する。	6ヶ月
2	35	事業所が居住地と離れた場所に移転したため、地域住民との直接の交流も少なく、認識度に欠けるため、地域住民との災害時の協力体制が確実にできていない。	運営推進会議を通じ地域との災害時の協力体制について協議し、地域消防団とのつながりを持つ。	地域消防団への事業所の情報提供を行う。 事業所敷地内にある地区防災倉庫を利用した訓練の提案する。	12ヶ月
3	40	毎日の食事準備の利用者協力が少なく、職員主体となっている。	利用者が協力できる部分を見つけ、スムーズに行えるよう支援する。共同でできる作業の機会を設ける。	日常会話の中から利用者の希望を聞き、献立に活かす。 利用者に配膳を手伝ってもらおう。 利用者に味見をしてもらう等により、参加意欲を高める。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月